授業科目　カウンセリング論（旧カリ）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
伊東　正裕	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：ＧＩＯ】

ソーシャルワークは心の相談としてのカウンセリングと密接に関係しており、ソーシャルワーカーは広義のカウンセリングに熟達している必要がある。この授業では、カウンセリングの実践上・理論上の基本的な問題について学び、ソーシャルワークにおいて適切にカウンセリングを実施するための基礎を習得することを目的とする。

【行動目標：ＳＢＯ】

1．カウンセリングを「学ぶこと」の意義を説明できる。
2．カウンセリングの目的やカウンセラーの倫理について説明できる。
3．カウンセリングをするための基本的技法やカウンセラーの態度について説明できる。
4．カウンセリングの５つの構成要素について説明できる。
5．カウンセリングがどのように展開するか説明できる。
6．カウンセリングにおける理論と実践の関係について説明できる。
7．カウンセリングの学び方・研究の進め方について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション：カウンセリングを学ぶ意味・重要性	1	講義
2	カウンセリングとは	2	講義
3	カウンセラーの倫理	2	講義
4	カウンセリングの基礎（１）分かるということ・初回面接と面接のゴール	3	講義
5	カウンセリングの基礎（２）面接で得られる情報	3	講義
6	カウンセリングの構成要素（１）聴くこと	4	講義
7	カウンセリングの構成要素（２）見ること	4	講義
8	カウンセリングの構成要素（３）対等な出会い	4	講義
9	カウンセリングの構成要素（４）専門的関係	4	講義
10	カウンセリングの展開（１）ストーリーを読む	5	講義
11	カウンセリングの展開（２）ストーリーの展開	5	講義
12	カウンセリングの展開（３）受け止めること	5	講義
13	カウンセリング理論と実践：フロイトの場合・ロジャーズの場合	6	講義
14	まとめ：カウンセリングの学習法・研究法	7	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	面接法	熊倉伸宏	新興医学出版	２００２　１５００円
参考書	新訂・方法としての面接	土居健郎	医学書院	１９９２　１８００円
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】

定期試験（レポート）

【履修上の留意点】

この授業では、1年次に開講した「カウンセリング技法」と共通のテキストを用いる。今回は理論的な問題を中心に取り上げるので、基本的な技法についてはテキストを通読して理解しておくこと。

社会福祉学科　専門